

DSX-5000 と DSX-8000 の モジュラー・プラグ成端リンク (MPTL) テスト・リミット



2017 年 5 月 31 日

Robert Pokorny

フルーク・ネットワークス “ナレッジベース” より抜粋

<https://jp.flukenetworks.com/knowledge-base/dsx-cableanalyzer-series/modular-plug-terminated-link-mptl-test-limits-dsx-5000-and>

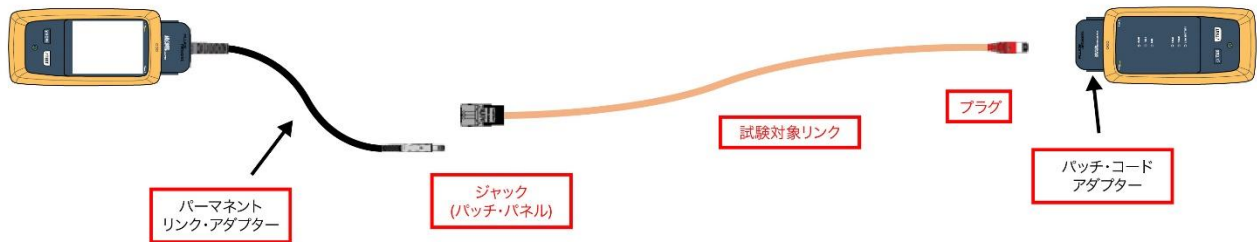
ナレッジベース

ANSI-TIA568.2-D 規格のドラフトにおいては、モジュラー・プラグ成端リンクと名付けられた新たなリンク・モデルです。以前の TIA-568-C.2 では、水平ケーブルを通信アウトレットで成端して、ユーザーに柔軟なアクセスを提供することを要求していました。しかしながら、ある特定のケースでは、デバイスに直接差し込むプラグで水平ケーブルを成端する必要が生じることもあります。

ほとんどの敷設にとって、パッチ・パネルからフェースプレートまでの試験を行うパーマメント・リンク・モデル、あるいはチャンネル全体の試験を行ういずれの方法も正しいアプローチです。しかしながら、アクセス・ポイントやカメラなど、遠端側に機器を設置する場合や、フェースプレートの設置が困難な場合には、このモジュラー・プラグ成端リンク・モデルが選択肢となります。

MPTL 試験では、一端にパーマメント・リンク・アダプターの DSX-PLA004 または DSX-PLA804 を使用し、もう一方の端にパッチ・コード・アダプターの DSX-PC6A、DSX-PC6、または DSX-PC5e を使用します。このリンクの試験では TIA パーマメント・リンクのリミット値が用いられます。

モジュラー・プラグ終端リンク



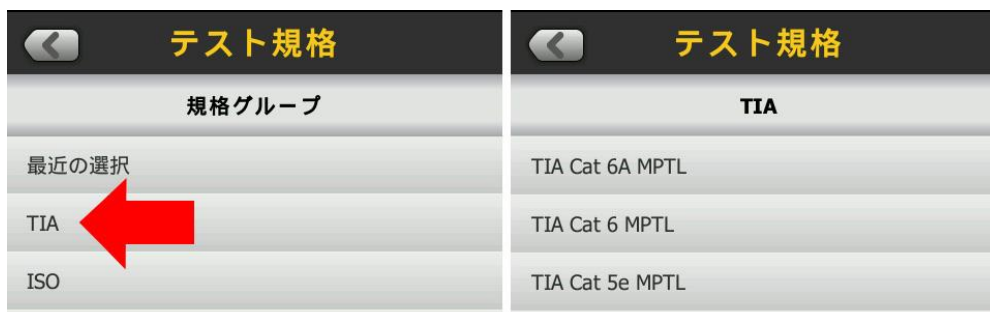
テスト対象のカテゴリに対応するパッチ・コード・アダプターを遠端で使用することで、現場で取り付けられたプラグの性能検証の手助けにもなります。(もしも、チャンネル・アダプターを使用したとすると、チャンネル規格の定義にしたがいプラグとジャックの嵌合部の NEXT(近端漏話性能)は測定に含まれないことになってしまいます。)

ナレッジベース

この試験を実行するためのテストの設定は、[テストのセットアップ] 画面で、[テスト規格] → [その他] の順に選択します。



次に、[規格グループ] 内の [TIA] を選択し、上にスワイプして MPTL リミット値に移動します。



適合するカテゴリのリミット値を選択します。

規格では、新たな敷設の場合、アクセス・ポイントまで 2 本のカテゴリ 6A リンクを配線することが推奨されています。

フルーク・ネットワークスについて

フルーク・ネットワークスは、優れた認証/トラブルシューティング/インストレーション・ツールを提供する世界大手企業です。当社の製品は、重要なネットワーク・ケーブル配線インフラを設置・保守する技術者を対象にしています。弊社は、信頼性と比類ない能力において高い評価をいただいております。最先端のデータセンターの設置から災害時の電話サービスの復旧作業に至るまで、すべての作業を効率的に行います。

DSX-8000 CableAnalyzer™ – メタル配線認証手順のステップの時間短縮を加速化します



最も厳しい測定精度要件である TIA の精度レベル 2G に適合する一方、比類のないスピードで Cat 8 および Class VIII のメタル認証試験を効率化します。ProjX 管理システムは、作業の確実な実施を実現し、試験のセットアップからシステムの検収までの作業進捗状況の把握を容易にしてくれます。Versiv プラットフォームは、光ファイバー試験 (OLTS と OTDR の両方) もサポートします。このプラットフォームは、将来の規格 改定へのサポートに備え、容易にアップグレードが可能です。近端漏話、反射およびシールド不良を含む不良原因のグラフィカルな表示を行う Taptive (タップティブ) インターフェースにより不良原因のより素早いトラブルシューティングができます。また LinkWare PC 管理ソフトウェアを使用し、試験結果の解析と専門的なテスト・レポートの作成が可能です。

CertiFiber® Pro – 光ファイバー認証試験プロセスのすべての段階の作業効率を上げ、加速化します

2 波長、2 本の光ファイバー認証の効率を改善し、試験をわずか 3 秒で実施できます。Taptive (タップティブ) インターフェースにより、セットアップの簡素化、間違いの排除、さらにトラブルシューティングのスピードアップが図れます。基準値設定の自動ガイダンス機能により、確実な基準値設定が可能になり、負の損失結果発生もなくなります。OptiFiber Pro モジュールと組み合わせて、Tier 1 (基本) / Tier 2 (拡張) 試験とレポート作成のすべてを行えます。便利な 4 波長モジュール によって、シングルモードとマルチモードの両方に対応できるばかりでなく、マルチモードの EF 適合性能もサポートします。



OptiFiber® Pro OTDR – データセンター/企業向け光パルス試験器



業界初の企業/データセンターの課題解決向けに一からデザインされた光パルス試験器です。シンプルでこれまでにない効率性、さらにキャンパス、データセンターおよびストレージ・ネットワークのトラブルシューティングに正に必要な機能群を組み合わせたツールで、現場の技術者を、専門知識を備えた光ファイバー専門技術者に変えてしまいます。すなわち、業界唯一のスマートホン・タイプのユーザー・インターフェースを備えることで光ファイバー試験を新たな高みに導きました。そして、DataCenter OTDR コンフィギュレーションにより、データセンター試験における不確実性やエラーが排除されます。その極めて短いデッドゾーンにより仮想化データセンターにおける光ファイバー・パッチコード試験も可能にします。

FI-7000 FiberInspector™ Pro – 光ファイバー・コネクタ端面を 2 秒で自動合否判定

汚れ、へこみ、小片、および傷による問題箇所をグラフィカルに表示します。業界標準規格の IEC 61300-3-35 に基づき判定できるため、端面検査における主観的な判断を削除することができます。



Versiv 製品選択ガイド

Versiv をどのように使用しますか？

選択ガイドへのリンク

フルーク・ネットワークス

株式会社 テクトロニクス&フルーク フルーク社

〒108-6106
東京都港区港南 2-15-2 品川インターシティ B 棟 6F
TEL 03-4577-3972 FAX 03-6714-3118
Web サイト: <https://jp.flukenetworks.com>
©2022 Fluke Networks Inc. All rights reserved.
Printed in Japan 10/2022 7002363B